



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）岸 和宏
問合せ先責任者 （役職名）IR・ガバナンス統括部長 （氏名）久米 清隆 TEL 042-546-2305
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	100,003	△3.4	5,526	△1.7	5,487	△5.6	3,278	3.4
2025年3月期第3四半期	103,474	13.9	5,624	45.6	5,812	45.1	3,169	27.7

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 5,980百万円（△3.9％） 2025年3月期第3四半期 6,223百万円（△4.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	146.49	—
2025年3月期第3四半期	142.15	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	109,901	72,895	58.7	2,870.35
2025年3月期	106,826	68,731	57.0	2,726.13

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 64,490百万円 2025年3月期 60,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2026年3月期	—	35.00	—		
2026年3月期(予想)				40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	135,000	△1.9	7,000	3.0	6,500	△15.9	4,200	7.6	188.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	25,000,000株	2025年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,532,193株	2025年3月期	2,671,437株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	22,378,179株	2025年3月期3Q	22,294,404株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における世界経済は、中東情勢等の地政学リスク、米国の政権の政策変更およびそれによる実体経済への影響等、先行きは不透明な状況が継続しました。

当社グループが注力する自動車関連市場は、米国の関税政策見直しの影響により、直接的な関税負担や間接的な需要動向への影響等の不確実性が継続している状況ですが、当社では、顧客との丁寧な価格交渉やロジスティクスの機動的な見直し等、関税影響の極小化に努めました。また、4月より新たな中期事業計画をスタートさせ、「モビリティ関連ビジネス」と「コンシューマ関連ビジネス」の2つの成長戦略を掲げ、更なる成長の実現に向けた取り組みを行いました。主力となる「モビリティ関連ビジネス」においては、長年培ってきた車載向けスピーカの品質とグローバルな安定供給体制を強みとして、車載関連ビジネスの受注を増やすことに注力しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は100,003百万円（前年同期比3.4%減）、損益面では、営業利益が5,526百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益が5,487百万円（前年同期比5.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3,278百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(スピーカ事業)

ブランドド・プレミアムレベルにフォーカスした販売戦略を推進しましたが、中国における一部の自動車メーカー向けのスピーカ販売が想定通り落ち込んだことにより、売上高は82,433百万円（前年同期比3.6%減）となりました。損益面では、一部で利益率の高いスピーカ販売が増加しましたが、上記販売落ち込みの影響により、営業利益は4,632百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(モバイルオーディオ事業)

民生用アクチュエータや主要顧客向けイヤホン・イヤホンドライバの販売が計画を上回る出荷となった一方、車載用ヘッドホンやその他顧客への販売が伸び悩んだこと等から、売上高は9,660百万円（前年同期比7.6%減）となりました。損益面では、売上高の減少等により、営業利益は505百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

(その他事業)

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音スピーカの販売が堅調だったこと等から、売上高は7,910百万円（前年同期比4.8%増）となりました。損益面では、以前より取り組んできた構造改革の効果により利益体質が強化され、営業利益は387百万円（前年同期は営業損失188百万円）と、黒字化しました。

（注）上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に設備投資により前連結会計年度末に比べ3,075百万円増加して109,901百万円となりました。負債は、主に買掛金の減少により前連結会計年度末に比べ1,087百万円減少して37,006百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金と為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ4,163百万円増加して72,895百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.7ポイント増の58.7%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,561百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益等により3,766百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により3,805百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済や配当金の支払いにより1,870百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,388	19,210
受取手形及び売掛金	29,972	28,151
電子記録債権	727	756
有価証券	1,115	308
製品	17,210	18,138
原材料	7,275	9,368
仕掛品	1,304	1,667
貯蔵品	322	350
未収入金	2,232	2,437
前渡金	833	572
その他	1,722	2,493
貸倒引当金	△59	△86
流動資産合計	83,045	83,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,327	7,781
機械装置及び運搬具（純額）	5,578	6,910
工具、器具及び備品（純額）	1,884	2,118
土地	3,384	3,545
建設仮勘定	1,219	2,336
有形固定資産合計	19,394	22,691
無形固定資産		
ソフトウェア	328	319
その他	140	137
無形固定資産合計	469	457
投資その他の資産		
投資有価証券	2,328	1,940
長期前払費用	68	73
退職給付に係る資産	1,102	977
繰延税金資産	228	217
その他	187	173
投資その他の資産合計	3,916	3,382
固定資産合計	23,780	26,531
資産合計	106,826	109,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,998	16,492
短期借入金	4,902	5,969
1 年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	2,518	3,276
リース債務	485	453
未払法人税等	1,270	832
未払費用	3,144	3,037
賞与引当金	609	1,153
その他	1,357	1,443
流動負債合計	33,886	33,258
固定負債		
長期借入金	1,650	1,200
繰延税金負債	775	749
リース債務	933	1,067
退職給付に係る負債	122	140
役員退職慰労引当金	12	14
株式給付引当金	144	20
その他	568	555
固定負債合計	4,207	3,747
負債合計	38,094	37,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,935	7,036
利益剰余金	39,483	41,071
自己株式	△3,937	△3,822
株主資本合計	49,251	51,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	911
為替換算調整勘定	10,949	12,756
退職給付に係る調整累計額	△255	△231
その他の包括利益累計額合計	11,619	13,435
非支配株主持分	7,861	8,404
純資産合計	68,731	72,895
負債純資産合計	106,826	109,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
売上高	103,474	100,003
売上原価	85,619	82,311
売上総利益	17,854	17,692
販売費及び一般管理費	12,230	12,166
営業利益	5,624	5,526
営業外収益		
受取利息	211	203
受取配当金	44	51
為替差益	419	—
雑収入	268	202
営業外収益合計	942	457
営業外費用		
支払利息	499	272
為替差損	—	93
持分法による投資損失	1	39
雑損失	254	90
営業外費用合計	754	496
経常利益	5,812	5,487
特別利益		
投資有価証券売却益	—	392
特別利益合計	—	392
税金等調整前四半期純利益	5,812	5,880
法人税、住民税及び事業税	1,383	1,483
過年度法人税等	△167	—
法人税等調整額	66	△23
法人税等合計	1,283	1,460
四半期純利益	4,529	4,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,360	1,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,169	3,278

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4, 529	4, 419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	△14
為替換算調整勘定	1, 539	1, 538
退職給付に係る調整額	11	36
その他の包括利益合計	1, 693	1, 561
四半期包括利益	6, 223	5, 980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4, 803	5, 094
非支配株主に係る四半期包括利益	1, 419	886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,812	5,880
減価償却費	2,396	2,469
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	127	118
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	520	518
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△392
受取利息及び受取配当金	△255	△255
支払利息	499	272
為替差損益 (△は益)	132	81
持分法による投資損益 (△は益)	1	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,580	2,233
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△137	△2,234
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,255	△2,733
未収入金の増減額 (△は増加)	△382	△212
未払金の増減額 (△は減少)	△211	649
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,092	277
その他	1,377	△1,030
小計	9,459	5,712
利息及び配当金の受取額	255	255
利息の支払額	△499	△272
法人税等の支払額	△1,215	△1,928
法人税等の還付額	167	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,168	3,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△542	△304
有価証券の償還による収入	660	712
投資有価証券の売却による収入	—	719
有形固定資産の取得による支出	△2,617	△4,735
無形固定資産の取得による支出	△120	△59
長期前払費用の取得による支出	△108	△114
定期預金の預入による支出	△1,659	—
定期預金の払戻による収入	1,611	—
その他	△12	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,790	△3,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△413	930
長期借入金の返済による支出	△581	△450
配当金の支払額	△784	△1,690
非支配株主への配当金の支払額	△169	△283
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△349	△377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,298	△1,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	321	348
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,400	△1,561
現金及び現金同等物の期首残高	17,034	20,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,434	19,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「雑損失」に含めていた「持分法による投資損失」は、金額的重要性が増したため、中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「雑損失」に表示していた1百万円は、「営業外費用」の「持分法による投資損失」として組替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「持分法による投資損益」は、金額的重要性が増したため、中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた1百万円は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「持分法による投資損益」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	85,473	10,454	7,546	103,474	—	103,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,019	3,019	△3,019	—
計	85,473	10,454	10,565	106,493	△3,019	103,474
セグメント利益又は損失 (△)	5,109	703	△188	5,624	—	5,624

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	82,433	9,660	7,910	100,003	—	100,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,591	2,591	△2,591	—
計	82,433	9,660	10,502	102,595	△2,591	100,003
セグメント利益	4,632	505	387	5,526	—	5,526

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。